



伊勢亀鈴会
ホームページは
←こちらから

一般社団法人 三重県理学療法士会
会長 南出 光章

理学療法士の役割と展望





弁天池の 沈み鳥居

滋賀県にある名坂大池寺自然公園内の弁天池に佇む沈み鳥居。初夏にはピンクや白色の睡蓮が水面を彩り、静かな池に浮かぶ鳥居と花々が調和し、幻想的な情景が広がる。

目 次

■巻頭インタビュー 1

理学療法士の役割と展望

一般社団法人 三重県理学療法士会
会長 南出 光章

■なかま 6

「ジャム班の☆」

第2南勢就労支援センター 高川 由夏 さん

■ハートフルリレー 7

ペット合同供養祭

～橋のたもとで待つあの子へ～

きれい福祉会館白子館長

佐藤 雅人

■春夏秋冬 8

行事・クラブ・活動紹介

■きれいトピックス 16

合同慰靈祭

グラウンドゴルフ大会

福祉の森まつり

■きれいアートギャラリー 20

日中活動作品紹介

■きれいかいの動き 表3

新職員・人事異動他

理学療法士の役割と展望

会長 南出 光章
一般社団法人 三重県理学療法士会

今回は、当法人と長く関わってくださっている、三重県理学療法士会 会長 南出光章先生にお話を伺います。インタビューアーは、二見生活介護支援センター潮音の倉田麻美です。

Q1、理学療法士とはどのような仕事ですか？

南出会長：理学療法士は、病気や怪我、高齢化などによって身体の機能が低下した人に対し、運動療法や物理療法などを用いて、身体機能の回復、維持、改善を支援する国家資格を有した専門職です。加えて、身体を動かす力を取り戻す専門家であって、身体の痛みや不自由さを改善して、患者さんや利用者さんが自立した生活を送れるように支える仕事です。

理学療法士は、いろんなところで働いていまして、一番多いのは病院で、特に回復期リハビリテーション病院に勤務しているという方が非常に多いです。その他に、老人保健施設や通所デイケア、自宅での訪問リハビリなどで介護保険施設に勤務されています。

また、最近ではスポーツ現場や企業、研究機関、教育機関などに勤務する理学療法士も増えています。

Q2、理学療法士になろうと思われたきっかけは？

南出会長：高校を卒業するときに就職しようと思って、その時の就職先に病院でリハビリの仕事があるというのを教えていただいて、見学させてもらい、やってみようかなと思いました。高校卒業後、2年ほどはリハビリの補助として働きました。



その後、学校に行かせてもらつて、理学療法士になつたという感じですね。自分が高校を卒業する頃というのは、まだリハビリというのがなくて三重県でも、理学療法士が数10人みえるぐらいで、高校卒業して就職させてもらつた病院でも、リハビリをこれから実施する病院で理学療法士が一人でした。後は、補助員が補助して、患者さんと関わさせていたいたというような感じですね。

Q3、理学療法士になられて何年になりますか？

南出会長：約35～6年ですね。35～6年というと、もう年が分かつてきますね。

理学療法士の免許をとつて、最初は、病院勤務で、リウマチの患者さんを中心に入院させてもらつて、その後転職し、今度は整形疾患で人工関節などを中心にさせていただきました。病院でだいたい15年ぐらい働き、更に転職して介護保険分野で働いています。

病院で働いていた頃は、例えば脳梗塞であれば、倒れられてすぐから在宅復帰までリハビリをしていく感じでしたが、自宅に帰られてから、どういう生活をしているのか分からなかつたのですよね。やはりそういうところのリハビリをしてみたいのもあって、在宅でのリハビリも含めて、ケアしていくという思い、介護保険分野に転職しました。

Q4、これまでのリハビリで楽しかったことや厳しさを感じるような経験はありますか？

南出会長：「リハビリで大事な」とは、人と人との関わりであると思います。

治療する側、治療を受ける側の信頼関係がなければ、患者さんは良くならないので、そこが一番重要なとっています。患者さんや利用者さんの立場に立つて、その方の悩みを共有して一緒に考え、目標を持って、しっかりとコミュニケーションをとつて、リハビリに取り組み、そこで目標と一緒に立てて進んでいけることが一番楽しかったことです。

Q5、その中で最も印象的な経験はありますか？

南出会長：病院で勤めていた時に、25～6歳ぐらいの女性の患者さんが入院されてみました。

2階から落ちたか何かで、脊髄損傷になられた方でした。リハビリと言つても、身

Q6、これまでにリハビリを拒まれる方があると思いますが、その場合どのような声掛けや対応をされますか？

南出会長：リハビリを拒否されるというか、嫌がるという方は、正直みました。その時に多くの方の拒否される理由の一つは、脳梗塞になつて半身が麻痺するなど、なかなか障がいを受け入れることができなくて、疑心暗鬼じゃないですけれども、そのような方は、拒否されることが非常に多かつたと思います。



そういう方を含め、ほとんどの患者さんは自分より年上で、人生の先輩でもあり、その方の価値観などの話をしつかり聞いて、その中から悩み事などを共有して、リハビリをもう一度頑張つていこうというような形を取らせてもらいました。

特に今の理学療法士、三重理学療法士会員もそうですけれども、平均年齢は約34、5年ぐらいため、学校を出て数年ぐらの方々

が患者さんのリハビリをしていることがほとんどです。患者さんは親世代以上ですので、その方々から見たら「こんな若い子だ」と思われるところも確かにありますので、その時はしつかり話し、その方の人生観などを聞いて、やつていくべきかと思っています。例えばどういう仕事をされていたのか、その方の住んでいた地域のことを調べたりして、そこからコミュニケーションを取るというふうとはしましたね。

Q7、先生が初任の頃のリハビリと現在とは違いますか？

南出会長：就職した頃の理学療法士は、三重県で数10名程度しかいなかつたという状態でした。

患者さんも多種多様で、脳梗塞や骨折、リウマチ、神経難病など、いろんな方々の理学療法を実際行つていきました。その方々の急性期から在宅復帰まで関わつて、機能回復後、自宅に帰つていただくのが主流でした。今はどちらかというと、急性期なら急性期病院でのリハビリ、回復期であれば、回復期病院でのリハビリ、維持期であれば、通所や在宅でのリハビリなど機能的に分かれています。そこでそれぞれの理学療法士が専門職として関わつています。

個人的には、急性期から在宅まで関わる方が、その方に対する生活レベルは上がるように思うのですけれども、国の政策も

あり、今はこのように分かれています。

一人の方をはじめから在宅まで通して関わることで、信頼関係もより深くなり、その方の機能が上がつてきたというのがよく分かると思いますが、各時期での担当のようになっていますね。例えば、脳梗塞で運ばれたら、急性期の救急病院に一定期間入院され、その後はリハビリが必要であれば、回復期のリハビリの病院に転院ですね。骨折であつたり、脳梗塞であつたり、入院日数が決まつていて、それ以降に関してもう在宅に帰るか、高齢の方であれば介護保険を使って、老健などを利用する形です。昔のように長期間同じ病院で入院するというのはないです。

Q8、また、子供と大人(高齢者)ではリハビリの方法に違いがありますか？

南出会長：基本的にリハビリの方法、自体は大きな違いのではなく、寝ているところから起きて、起きたところから座つて、座つたところから立つて歩きましょう。という段階でリハビリを進めていきます。高齢者であれば、筋力を鍛えたりとか、可動性を上げたりバランスをとるなどしていきますね。子供たちは、なかなか同じようには難しいので、遊びの中で動作を教えるようにしていきます。例えば、ボール投げで動きを教えるなどのようにリハビリをしています。

Q9、障がい者のリハビリに対する効果や障がい福祉とリハビリの関係性はどのように思われますか？

南出会長…障がい者のリハビリと障がい福祉との関係というのは、単に身体の機能回復を図りリハビリのみ行うのではなくて、人の尊厳や社会参加を支える総合的な支援と捉える方がいいと思っています。

障がい者のリハビリに対する効果的な部分は、身体機能の維持・改善、生活の保障というのが一番だと思っています。理学療法士は、障がい者にとって失われた動作能力を回復させて維持し、難しければ代償することを目的に行っています。例えば、機能回復というのは筋力や可動域、バランス・歩行能力などの改善ですけれども、それだけでは障がいが残る方というのはみえますので、その方々に対して装具や車椅子などを活用してできる動作能力を増やしています。

また、姿勢や動作の工夫で痛みや疲労を軽減し、生活動作やADL、社会参加の幅を大きく広げるなどが自立につながると思っています。

障がい福祉の目的は、自分らしく生きる社会を作ることであって、リハビリテーションの目的の一つも、その人が望む生活を送れるように機能を高め、環境を整えることで社会参加を促しています。両方とも根本的なところというのは、自立支援と社会参加の実現どころの目標と思っています。

Q10、理学療法士としてこれまで取り組まれたこと、これからも継続したいことはありますか？

南出会長…私たちの職業というのは、基本的には障がいを持った方々を対象に、リハビリを行ってADL・QOLを高めていくのが目的だと思っています。その方の思いを汲み取って、その方の代弁者となって、一緒に考えられる理学療法士として、今後も携わっていかなければと思っています。

Q11、理学療法士以外にしてみたい仕事はありますか？

南出会長…理学療法士以外としてみたい仕事をつて、あまり考えたことがなくて、理学療法士になるか、若い頃、調理が好きだったので、調理学校に行つてたかも分からないです。

Q12、個人的な質問になりますが、幼少期はどのような遊びが好きでしたか？

南出会長…子供の頃は、やんちゃだったそうで、結構外で遊んでいて、いろいろ怪我をしました。なんか急によじ登つてバツと落ちて、指をバサッと切つたりとか、親はもう指を落としたと思うぐらいの怪我をしたそうです。

Q13、よく読まれる本（ジャンル）はありますか？

南出会長…本は本当に読まないです。You

Tubeを観ていても、正直昔からもあまり読まなかつたですね。本当は読んで勉強しないといけないのですけどね。

Q14、現在、三重県理学療法士会会長をされていますが、理学療法士会はどのような組織でどのような活動をされていますか？

南出会長…三重県理学療法士会は、昭和54年に三重県内の病院や施設に勤務する理学療法士及び、三重県に勤務先がなくても自宅がある理学療法士、それから理学療法士の免許を持っているものの、病院や施設で働くかずに自宅にみえる理学療法士などによって構成された職能団体です。会員としては、現在約1600名となっています。活動内容としては、会員の学術研鑽の場として年間50本ほどの臨床に即した学術研修を行っています。また、一般市民向けに公益事業も積極的に行つています。

例えば、伊勢亀鈴会さんでも、福祉の森まつりで、体力チェックや健康講座をさせていただいたり、地域支援活動として、地域サロンに出向いて、体操の指導や転倒予防教室などをさせていただいています。スポーツ分野に関しても、野球やマラソン大会でのメディカルサポート事業もさせていただいています。

また、最近では学校での運動チェック、体の状態、身体機能のチェックなど、地域に出て向いての活動もさせていただいています。

今後、少子高齢化が進み、地域包括ケアシステムの中で体力や活動性低下などの予防に携わっているリハビリ専門職がより重要な役となっています。

自宅で生活を送っていただけるような作りは、一番得意なところですので、健康教室やサロン活動にどんどん行かせてもらっていますね。

学校に関しては、徐々にスクールトレーナーという形で入っています。子供たちは、運動することが少なくなり、スマートフォンを使うことも多く姿勢が悪い方、姿勢自体が保てない方が多く、例えばボールが投げられない方がみえますね。そのような方々に体の使い方や姿勢を指導するなど学校教育に入っています。

コロナによって生活環境がすぐ変わってしましましたね。

Q15、先生と当法人との関わりはいつ頃から、どのような関りをされていますか？

南出会長：伊勢亀鈴会さんと自分との関わりは35年ぐらい前で、リハビリの仕事を始めてから関わさせていただいています。というのは、先代の小林充理事長には、ずっと懇意にさせていただいていました。その関係で、八野生活介護センターや宮の里ミタスメモリアルホームなどにも行かせていただき、障がいのある方に対する生活状況なども教えていただきました。

Q16、これから日本社会の中で理学療法士の展望はありますか？

南出会長：個人的には、理学療法士は、今後の日本社会において、少子高齢化が進んできて、健康寿命への関心が高まる中、ますます重要な役割を担うと思っています。

健康寿命の延伸をしていくというのが国の政策でもあって、その部分は、運動機能の専門家でもある私たち理学療法士が、地域での健康教室や介護予防事業などを行って、フレイル予防や転倒防止、歩行能力の維持・改善を図るなど、寄与していきたいと思っています。それと、今まで病院が中心でしたが、これからは医療というよりは予防や地域生活、在宅へのシフトというのが進んでいくと思います。発症を防ぐ、再発を防ぐ、生活の質を保つ予防分野への関わりを積極的にしていくたいと思っています。他には、スポーツ産業分野、教育運動分野などに関しても、その人の機能をいかに上げて、それを持って在宅での生活をいかに担保していくかという点に着目して進んでいきたいと思っています。

個人的なことになるのですけれども、私の結婚式の仲人も小林理事長でした。その後も、15年ほど前から、三重県理学療法士会として、福祉の森まつりでのイベントのブースの出展もさせていただき、ずっと交流が続いています。今年も200人ぐらいの方の健康チェックをさせていただきました。



日本理学療法士協会 協会賞受賞



福祉の森まつりでの活動



日本理学療法士協会 会長 斎藤秀之先生とのツーショット



「ジャム班の☆」

高川 由夏さん

第2南勢就労支援センター

今回ご紹介するのは、平成29年11月より第2南勢就労支援センターへ通い、普段から明るく穏やかな性格で、周囲の利用者さんにも優しく声をかけてくださる高川由夏さん。

ご紹介するにあたり、今回の経緯をご説明したい。

ある日、机の上に「機関紙に載りたい」というじ本人の希望と自じPRが書かれた直筆の手紙が置かれていた。その気持ちを確認するといつもの明るく穏やかな顔ではなく、非常に凛々しい顔で強い意志を感じられた。ちょうど15号の校了後であった為、今回のご紹介となる。いつも周囲にやさしく、仲間からも頼られる素敵な『ジャム班の☆』高川由夏さんのジャム加工場PRをご賞味ください。

鍋回し中の☆ミ

- ①加工場で、仕事を頑張っています。
- ②加工場で、仕事を頑張っています。
- ③加工場で、仕事を頑張っています。
- ④加工場で、仕事を頑張っています。
- ⑤加工場で、仕事を頑張っています。

（原文のまま）

加工場で、仕事を頑張っています。

加工場の中で新し

い利用者に加工場で洗い物拭いてくださ

って言つてあげたりしています。いつも利用者が加工場で言われなくて、透明の箱をふきんで、拭いてくれたりとか、してくれます。加工場です。仕事の内容は、利用者が袋を洗つてくれたのを利用者に袋を拭いてもらっています。私が、すんどう鍋を洗つたのを、利用者が拭きに来てくれます。毎日する加工場の仕事流れを教えます。

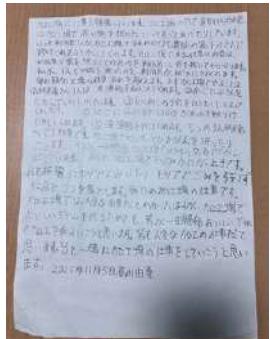
まず加工場でやることは、
①利用者さん3人は、洗濯物を取りこんで
くれます。

②かごにふきんをたたんでくれたりして
います。

③なべ回しの手袋をひき出しここにしまってく
れます。

④3かごに、はかりふき・口ふき・がわふ
きを片づけたりしてくれます。

⑤洗濯物を干してくれます。



令和7年12月よりジャム加工場の改修工事が始まる。令和8年1月頃には、リニューアルし、加工場・ジャム班の利用者さんもパワーアップした姿が見られるので、第2南勢就労支援センター『ジャム班の☆』高川由夏さんのご活躍にご期待!!

2025年11月5日 高川由夏

令和7年12月よりジャム加工場の改修工事が始まる。令和8年1月頃には、リニューアルし、加工場・ジャム班の利用者さんもパワーアップした姿が見られるので、第2南勢就労支援センター『ジャム班の☆』高川由夏さんのご活躍にご期待!!



ペツト合同供養祭 ～橋のたもとで待つあの子へ～

福祉葬祭三重
きれい福祉会館白子館長
佐藤 雅人

福祉葬祭三重きれい福祉会館白子館長の佐藤と申します。

日頃は、お客様の通夜・葬儀などの業務を担当しております。

例年、合同慰靈祭等のイベントを行つてきましたが、昨今ペツトも大切な家族と認識されていることを鑑み、今年度は新たにペツト合同供養祭を執り行うこととなりました。

10月5日(日)、白子会館にて『橋のたもとで待つあの子へ』をテーマに供養祭を行つていただき、初めに真宗高田派宣隆寺様よりお勤めを賜り、キャンドル献灯・家族代表による追悼メッセージを頂戴し、最後に参列者全員がそれぞれの大切な『家族』を想い、一輪一輪献花を捧げました。

また第二部では【生命の輝きコンサート】として『meleestriring』様による演奏や歌唱が行われ、楽しいひとときを過ごしていただきました。参列された30家族50名の皆様からは「とてもいい供養祭でした」「気持ちの整理がつきました」「同じ気持ちを共有できて嬉しかつたです。」等の感謝のお言葉をいただきました。この供養祭が地域の皆様に福祉葬

祭三重を知つていただくきっかけ、また遺されたご家族にとって新しい一步を踏み出す機会となつていただくことを願い、初めてのペツト供養祭を終了しました。今後もお客様に喜んでいただける企画を考え、実施していきたいと考えております。



ペツト合同供養



生命の輝き コンサート



家族の思い出

八野生活介護センター

バーベキュー

11月15日(土)、八野生活でバーベキューを開催した。

当日は天候にも恵まれ、会場は「中庭」or「食堂」から選んでいただき、利用者さんのみんなにゆつたりと楽しんでもらえた。

お食事は、焼きそばやフランクフルトをご用意！

14時には、利用者さんの希望メニューとして、焼き芋が登場した。大きいさつま芋を焼きたてで提供し、利用者さんが、「甘くておいしい」といった声があり、大変ご好評をいただいた。



上手に焼けました！



美味しいそうな匂いがするよ！



焼きそば美味しいです♪



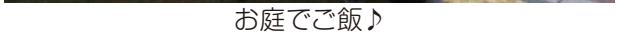
焼きたてで熱そうだな～



アルミ焼き



大きいお芋♪



お庭でご飯♪

10月31日(金)、ハロウィンイベントを開催した。
最初のプログラムは「おばけなんてないさ選手権」。「おばけなんてないさ」の曲に合わせて、元気いっぱいにダンスを披露し、笑顔で楽しむ姿が多く見られた。
MVPに選ばれた方々には景品が送られた。

続いて「ハロウィン＆ハロウイン○×クイズ」を実施。ハロウインやハロウイン○×クイズを野に関する問題に挑戦し、正解が発表されるたびに笑い声や驚きの声が広がった。

最後は「お菓子釣り」。釣れたお菓子を嬉しそうに見せ合う姿が印象的だった。

ハロウィンイベント



ハロウイン&ハロウイン○×クイズ



MVPのお二人☆



お菓子取れたよ！



おばけなんてないさ♪

放課後等ディサービスUR_AURA



梯神社 10月9日



桜の森公園 9月23日



職員駐車場 9月6日



白子海岸 11月15日

UR_AURA八野では、今年度プロギング活動を継続的に実施している。職員駐車場や公園等で行っている。白子海岸でのプロギングでは、鈴鹿医療科学大学の学生達や保護者にも参加していただいた。児童たちも積極的にごみを拾い、清掃後には清々しい笑顔も見られた。

プロギング活動！

UR_AURA八野

「秋の遠足」鈴鹿サー・キットへ

UR_AURA稻生



私が動かしてるよ！



でんでんむしでゴー



これから飛ぶんだよー

11月15日(土)、秋晴れのなか「秋の遠足」として鈴鹿サー・キットのアミューズメントパークに出かけた。

事前に「乗りたいアトラクションはなに？」と聞いて、答えがあがった「プチレーシングカー、トレイイン、フライド、アドベンチボード」などに乗ってテンションも大上がり。乗り物が苦手な人でも、ゆつたりとした「でんでんむし」に乗ったり、おしゃれでかわいい菜園めぐりでスタンプラリーに挑戦したりと好みに合わせて楽しめた。

おやつとして、パンケーキやポテトを食べたり、お土産としておもちゃやノートを買つたりとそれぞれ思い思いに時間を過ごされた。

八野就労支援センター



紙すきダンスを披露！



利用者さんも安心して作ることができます



保護者様の手慣れた動きに感動！



青空学園 × はちサポ

今年度の青空学園では、保護者様が行事をサポートする「はちサポ」を結成していきます。「何か一つでも利用者さんに関わってもらいたい」という趣向で理解をいただき、職員・利用者さんとともに行事に取り組んでいきます。

10月25日㈯、紙すき年賀状&森まつり
チ打ち上げを行った。

前半は紙すき年賀状作り、後半は森まつりを行った。紙すきは毎年行っていることもあり、材料をちぎってペストボトルに入れ、シェイクするところ流れを手慣れた様子で進めてもらひた。「はちサポさんからもこんな感じで作ってるんですね」「今年もおばあちゃんに送るから頑張って作つてね」とか「おまかせ」となどの声を聞くことが出来た。

スイーツ作りスタート。食堂はフルーツポンチ作りを、せりせりではチパンケーキ作りを行った。各場所で作ったスイーツを交換してじきじきのスイーツも召し上がってもらひたところ流れであったが、はちサポさんが主体となつてもいい順調に進めることが出来た。食堂に移動し、売上金の贈呈を行つた。「やつたーーー何か買おつかなー」と嬉しそうにする様子が印象的であった。はちサポさんも「いっぺん入つてなじーーー」と一緒に喜んでいた。ただじてはみ姿が見られた。



合唱コンクールは大盛りあがりでした



勉強になりました！



なかなかむずかしそうです

11月22日㈯は、前半は先月作成した手作り年賀状に文字書き、秋の味覚クイズを行つた。

年賀状への文字書きは縦書きにあるか、横書きにするか練習をしながら選んでもらひた。本番では丁寧に書き進めるもの、じつもの調子でちりちりと書き上げる方などさまざまであった。味覚クイズでは秋～冬の旬の野菜や海の幸などを中心に問題を出していった。全問正解者は少なく、悔しかる者が印象的であった。

合唱コンクールスタートし、3グループに分かれて行つたため、職員も3グループに分かれてメンバー選出。「自分で選んで」とアピールする者もいれば、「〇〇さんと一緒に良い」とメンバーの候補を出す者もいた。表題曲は3曲あり、パプリカが1番人気であった。じゃんけんをしてようやく曲が決まり、練習スタート。はじめは声が小さいグループも次第に大きくなつたり、まとまりが出てくるなど良い雰囲気であった。

サポートサマーフェスティバルやつたよ!

芸術文化祭に向けて

8月30日(土)、夏真っ盛りの中、サマーフェスティバルをきれいサポートステーションで行つた。利用者さん60名が参加し賑やかに開催された。催し物は屋内では、射的、eスポーツ、カラオケ、風鈴作り。作業場裏手で花火を楽しんだ。駐車場では、焼きそば、かき氷に長蛇の列となつた。

想像以上に猛暑の為、かき氷が飛びように無くなり、職員も買い出しに走る程だつた。

何よりも熱中症に誰一人なることなく、終えるひとが出来た事に感謝すると共に、来年も楽しめる企画を行つていただきたい。



お昼に花火を…



真剣な職員!



風鈴いいでしょ



ゴルゴ13!?

みだ。

サポートステーションには、クラブが4つあり、その中のやくざデザインクラブを紹介させて頂く。今回12月に開催される二重障がい者芸術文化祭に向けて今年も作品を作成している。

昨年、実行委員会賞を

受賞した林岳人さんは、ペーパーフラワーの廃材を使用し作成中。今回も力作になる模様。山際智也さんは、機関車をちぎり絵で見事に完成させた。ダイアモンドアートを一生懸命作成しているのは、鈴木彩華さん。家でも趣味でやる程楽しそう。

さくらデザインクラブ全員がそれぞれテーマを作つて頑張つて楽しく作成している。完成が楽し



良く出来たでしょ?



色鮮やかに



職人技!

南勢就労支援センター

叶えーる

今年度、南勢では利用者さんの「叶えたい」を応援するプロジェクト「叶えーる」を進めていく。

一人ひとりの「叶えたい」は多岐にわたり、「ダンスへの挑戦」「手話の披露」「個展の開催」「漢字検定への挑戦」「折り紙アートや点描画の制作」など、多様な夢が生まれていく。

活動の一環として、10月26日㈯に開催された南勢地区の森まつりでは、アート作品の個展や、ダンス・手話の練習の成果を披露することができた。これは、利用者さんにとって大きな自信・肯定感につながった。

現在も挑戦は続いている。折り紙アートや点描画は、三重県障がい者芸術文化祭への出展を目指し、鋭意制作中だ。また、漢字検定に向けた事前学習では、一人ひとりが苦手な問題に真摯に向き合って、合格に向けて懸命に学習に取り組んでいく。

南勢はこれからも、利用者さんの「叶えたい」という前向きな気持ちを全力で応援し、利用者さんの自己実現に向けた支援を継続していく。



ナイスファイト!

11月22日㈯、三重県営サンアリーナにて行われた「ナイスハートふれあいスポーツ広場伊勢大会」に初参加。伊勢近辺の他事業所さんと南勢で全12施設、総勢149名で、2チーム（ハートチームとナイスチーム）に分かれて楽しんだ。年齢、性別、運動能力、障害の有無にかかわらず誰もが参加できるユーバーサルスポーツの5競技を全員で楽しんだ。他施設の利用者さんやスタッフのみなさんとも挨拶を丁寧にされ、飛んだり跳ねたり体をいっぱい使った中でも、ルールをしっかりと守って楽しく参加させていた。会場全体が最後まで満面の笑顔いっぱいの活動だった。「またの機会には参加したいー」との声もたくさんあがっていた。



日帰り旅行

11月7日金、名古屋市の観光を目的とした日帰り旅行を実施した。当日は快晴に恵まれ、全員が体調良好で出発することができた。今回の旅行は、社会参加の機会を広げ、利用者個人の「自己実現」を目的として行つた。

津駅にて、近鉄特急「ひのとり」に乗車した。津駅までの道のりで1分間の短時間乗り換えを行つたが、今までの体験活動の経験により安全かつスムーズに乗車できた。「ひのとり」車内では利用者さん同士が談笑し、名古屋到着前から旅行気分を楽しむ姿が見られた。

名古屋駅到着後は、各班に分かれて市内観光を行つた。私の班は栄・大須周辺を中心に行動した。昼食は混雑を避けるため、名古屋駅付近で名古屋名物の矢場どんを1番乗りで食し、濃厚な味噌だれとサクサクの衣を楽しんだ。利用者さんからは「おいしい」との声が多く上がり、和やかな雰囲気の中で昼食を終えた。

昼食後は地下鉄でSKE劇場付近に移動したが、当日は劇場内に入場できなかつたため、地下通路で偶然行われていたアイドルのパフォーマンスを鑑賞した。利用者さんは間近で歌やダンスを楽しみ、手拍子を打つたり表情を輝かせていた。普段の施設内では得られない刺激を体験することができた。

その後、栄から大須まで徒歩で移動した。距離のある移動であつたが、利用者さんは疲れた様子を見せるところなく、元気に歩きながら会話や景色を楽しむ姿が多く見られた。大須到着後は商店街を散策し、土産物を見たり屋台で軽食を楽しんだりした。また、大須観音を参拝し、境内で記念写真を撮るなど、文化的な体験も行つた。

今回の旅行では、全員が安全に行動でき、予定通りの行程を終了した。班での移動や食事、見学において協力し合つ姿勢が見られ、交流の深まりや自主性の向上も確認できた。利用者さんにとって充実した一日となつたことが最大の成果であった。



大須観音



名古屋城散策



東山動物園



昭和レトロな「ダンラン亭」

宮の里ミタスマモリアルホーム

ハロウインパーティー

10月23日㈭、ハロウインパーティーを開催。

カボチャや被り物やハロウイン仕様の力チューシャで仮装し、思わず笑顔になるようなくぎやかな雰囲気となつた。

今年は館内をめぐるスタンプラリーを実施した。仮装した職員が事務所やリハビリルーム、医務室などに待機。「どこのいるかな?」と探しながらスタンプを集めめた。スタンプをそろえた利用者さんから食堂へ向かい、お菓子と交換した。交換したあとは、お菓子パーティーも行われ、袋いっぱいのお菓子を前に「どれから食べようかな」と悩みながら嬉しそうに味わう姿が見られた。

また、創作活動で作つた段ボール製のかぼちゃの馬車のパネル前で記念撮影もを行い、楽しい思い出を残すことができた。

終始、利用者さんの笑顔があふれる温かいイベントとなつた。



スタンプゲット!

スタンプを持った職員を探しにいくぞ～



仮装したよ♪

手作り馬車の前で記念撮影



トリック・オア・トリート!

スタンプ押して～!

お菓子を頬張り、いい笑顔

周年祭

11月1日(土)、地域交流を目的とした「潮音8周年行事」を開催した。

地域の方々への気持ちとして、宮の里栄養士監修の旬の食材を使用した鮭ときのこの焼き込みご飯の無料提供を行い「美味しいかったです」との声を沢山いただいた。

周年行事のメインは二見中学校吹奏楽部による演奏会があり、学生の方々の力強く、また繊細な演奏にご来場いただいた方からは沢山の拍手や歓声が上がり、普段聞くことのない楽器の音にびっくりする方や手拍子で楽しむ利用者さんの姿があった。

潮音職員スラーさんの英会話で利用者さんと地域の方々の交流もでき、一人一人にとつて特別な時間となつた。



周年祭吹奏楽

潮音の開所当時から利用されていた森ひと美さん。11月からは介護保険サービスへ移行となり、新たな場所での生活が始まっています。そんなひと美さんの夢は、今も変わらず漫画家になること。

ご利用日はいつも朝

から塗り絵に専念され、1本1本、赤・黄・ピンクと色鉛筆を走らせ、淡い色合いの可愛い女の子、風景画など出来上がった作品は数えることができないくらいで、潮音にも沢山の作品を展示してきたほどだ。

これからも夢に向かって、ひと美さんらしく過ごされることを願つている。

夢に向かって



森さん作品



森さん

合同慰靈祭

南勢地区



9月20日㈯、故人を偲ぶ日として南勢地区合同慰靈祭を開催した。
物故者家族様4名、その他31名、合わせて35名にご参加いただいた。

開催までの待ち時間には、生前と一緒に過ごされた利用者さんと話をされる家族様もみえ懐かしむ様子もみられた。また、式の中で生前のご様子を読み上げる場面では、涙ぐまれるご家族様もみえた。共に過ごされた日々を振り返る良い機会となつた。



11月28日㈮に北勢地区合同慰靈祭を開催した。

参列した2名の利用者さんも礼服を着用して参列され、たくさん思い出を振り返つておられた。一同感謝の気持ちを込めてお焼香、献花を行つた。
式では、これまで当施設で日々を過ごされた故人の皆様を偲び、職員、利用者さん、家族様が静かに手を合わせる時間となつた。温かく厳かな雰囲気の中、無事に終えることができた。

北勢地区

第14回グラウンドゴルフ大会

11月8日(土)、澄み切った青空の下の元、鈴鹿市深谷公園総合グラウンドに於いて、第14回地域交流グラウンドゴルフ大会が開催された。

地域の愛好会が5チーム、法人の3事業所から総勢50名が参加された。地域の方々にアドバイスをいただきながらグラウンドすることで、利用者の中にも2人ホールインワンを出し、回を重ねるごとに上達する姿も見られ、大盛況のうちに交流大会を終了することができた。



ナイスショット！



小林県議会議員による始球式



あ～、惜しい！



こうやって打ちましょう！



入るかな？



お見事です！



ブービー賞
コー・ジョスア・リョウタさん



第3位 樋口 強さん



準優勝 太田 拓浩さん



利用者個人の部 優勝 加藤潤也さん

北勢地区

10月12日㈰に鈴鹿市の深谷公園にて、第33回福祉の森まつりを開催。今年は『生命の輝き』をテーマに、届け！福祉の森への想いで準備にあたる。

ステージ上には、八野生活介護センターとJR ADEAの利用者さんで、『生命の輝き』の作品を掲示するなか、前日、中日新聞に掲載された「松本莉沙さん母娘のピアノ連弾」をオープニングに、「きれいサポートステーションの手話・合唱」、「劇団ゆめふうせんの演劇」、「はちのぶらざーずの鳴子演舞」との順に向け練習していただけた内容を披露。お匂かうは、袈裟丸祐介さんの弾き語り。毎月施設にきていただけ音楽会を開いてもらつており、1曲は利用者さんとのコラボの「オリジナル曲」も披露。コーラスグループのベイビーブーさんのコンサートには、利用者ひととコラボで「童謡にじ」を披露など楽しにステージで盛り上がった。

会場ブースでは

模擬店やキッチン
力に加え、創作活動で製作した手作りの作品販売。この日に向け取り組んでいたものの披露や販売をする機会となつた。



10月26日㈰、第27回南勢福祉の森まつりは、あいにくの天候に見舞われたが、一部規模を縮小して開催された。

外部のステージ出演は中止となったものの、各施設の利用者さんによる日頃の成果発表が行われたほか、西尾夕紀さんの歌唱ステージや利用者さんとのデュエット企画で会場は大変な盛り上がりを見せた。

また、会場の外では、絵本作家の服部美法先生を招き、参加型のアートイベントも行われた。来場者の皆さんが先生と一緒に一つの作品を作り上げる姿は、それぞれの想いが形となる貴重な機会となつた。

例年とは異なる形での開催となつたが、利用者さん一人ひとりが自己実現や達成感を得た祭りだった。



西尾夕紀さんのステージ



「愛が生まれた日」をデュエット



景品ゲット！



閉会宣言



ギター＆歌 「かぼす」



服部美法先生とのアート作品

きれい
アート
ギャラリー



きれい
南勢就労支援センター



岩木美晴さん
「ひまわりとあじさい」



片山聰美さん
「エンゼルフィッシュ」



松原浩二さん
「愛犬ななちゃん」



中川雄矢さん
「旅に行きたい」



佐波祥英さん
「僕の宝物」



岡田 優里菜さん
「万華鏡」



服部 光義さん
「フロントザウルス」



奥田 有彩さん
「雨上がりの藤の花」



二見生活介護支援センター 潮音

山本 哲太さん



クリスマスツリー

宮の里ミタスマモリアルホーム



ムービング ウィッシュツリー

きれい
きれいサポートステーション

八野就労支援センター

きれいアートギャラリーでは利用者さんの作つた物、書いた物など作品を紹介していきます。
各施設の力作が勢ぞろい！是非ご覧ください。

きれいかいの動き

新職員紹介

八野生活介護センター

宮の里ミタスマモリアルホーム

第2南勢就労支援センター



尾崎 加英



白木 明美



上野 満留

二見生活介護支援センター潮音



松本 まゆみ



大西 明夫



ご寄付をいただきました。 ありがとうございました。

ご寄付 2025.9.1~2025.11.30

法人

東海罐詰株式会社 様
株式会社アスト 柴田友美 様
八野入所保護者会 様

ご厚志一覧(順不同)

福祉の森まつり(北勢)

相澤 博 様
川北 真千子 様
富士交通株式会社 代表取締役 萩 文三男 様
横山園芸 横山 林 様
小森 稲穂 様
三重リコピ一株式会社 林昭寿 様
有限会社洋久屋燃設 様
NDS株式会社三重営業支店 飯柴満 様
有限会社江藤電設 様
JAYACARE株式会社 様
内田 常一 様・恭子 様
水谷和好 様・川比勝子 様・森幸子 様・野呂尚 様
藤川設計株式会社代表取締役 藤川 啓志 様
丸亀産業株式会社代表取締役社長 竹上 景太 様
三重熱工業株式会社 代表取締役 有川 勝俊 様
株式会社杉之内工務店 様

福祉葬祭三重

真宗高田派
眞言宗豊山派

真善寺 様
地福寺 様

※掲載中の写真におけるマスクの取り外しについて

各施設とも感染症対策のため、マスク着用は徹底しておりますが一部の記事ではマスクをしていると表現が伝わらない部分もありましたので、マスクを外して撮影させていただきました。ご協力ありがとうございました。

編集後記

二見生活介護支援センター潮音の倉田です。

編集長でありながら、巻頭インタビューを仕上げることで頭がいっぱいになり、編集後記を書くことを忘れるなど、ハプニングに見舞われましたが無事に会報をお届けできたことを嬉しく思います。編集にご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

今年もよろしくお願ひいたします。



ボランティアさん募集!!

八野生活介護センターと宮の里ミタスマモリアルホーム、二見生活介護支援センター潮音では、昼間ボランティアさんの趣味・特技を活かし利用者さんと一緒に活動していただける方を探しています。

現在、俳句・読み聞かせなど、ボランティアさんに来ていただいているですが、利用者さんと娯楽(卓上ゲーム等)・園芸・話し相手など気楽に接していただける方も募集しております。

ご希望の方は、ぜひ一度各施設までお問い合わせください。

問い合わせ

八野生活介護センター 担当:高田 TEL059-378-8881
宮の里ミタスマモリアルホーム 担当:澤 TEL0596-58-5030
二見生活介護支援センター潮音 担当:倉田 TEL0596-72-8822

福祉の森まつり(南勢)

さわだ薬局 様
丸亀産業(株) 様
山本壽代 様
中西修 様

百五銀行/田丸支店支店長 佐竹尚美 様
(株)オガワリテール 様



きれい通信

ちょっと寄り道!!



山の中にあるエメラルドグリーンの湖にかかる長さ90mの吊り橋



南アルプスの入口 静岡県
川根本町寸又挟。

原生林と清流に包まれた、この幽谷の地は古くから訪れる人の心を癒やしてきました

寸又挟「夢の吊り橋」は南アルプスの大自然と人の営みが生み出した寸又挟を象徴する聖地です。

夢のつり橋へは寸又峡温泉街から歩いて約30分。

夢のつり橋を渡る一周約90分の周遊コース「寸又峡プロムナードコース」では美しい自然がたくさん見ることができ、リフレッシュに最適です。

是非一度訪れて見てはいかがでしょうか。

寸又峡 案内マップ

Sumata Valley
Information Map



〒428-0411 静岡県榛原郡川根本町千頭寸又峡温泉

指定就労継続支援B型事業所

八野就労支援センター
きれい印刷工場

印刷

〒513-0837 鈴鹿市八野町22番地の1

TEL059-375-4381 FAX 059-340-8810 e-mail insatsu@kirei.or.jp

指定障害者支援施設指定生活介護事業所指定短期入所

八野生活介護センター

指定放課後等ディサービス事業所

URAURA八野

〒513-0837 鈴鹿市八野町428番地の1
TEL059-378-8881代 FAX059-379-3223
e-mail hachino@kirei.or.jp

指定放課後等ディサービス事業所

URAURA稻生

〒510-0205 鈴鹿市稻生4丁目19-6
TEL059-392-5130代 FAX059-392-5131

指定就労継続支援事業所・指定生活介護事業所

八野就労支援センター

〒513-0837 鈴鹿市八野町22番地の1

TEL059-378-6622代 FAX059-378-5335
e-mail hachino2@kirei.or.jp

指定就労継続支援事業所

福祉の森の家 おにぎり屋

〒510-0254 鈴鹿市寺家7丁目11-30
TEL059-380-6355 FAX059-367-7377

指定共同生活援助事業所

グループホームきれい

〒510-0254 鈴鹿市寺家7丁目11-30
TEL059-388-1508 FAX059-388-1508

指定共同生活援助事業所

グループホームきれい 空羅多ガーデン(くらたがでん)

〒513-0207 鈴鹿市稻生屋2丁目1番5号
TEL059-388-1882 FAX059-388-1882

指定共同生活援助事業所

グループホームきれい 亀山 第1栗の木ヴィレッジ

(第1)〒519-0166 亀山市布気町1446-2
TEL0595-96-8182 FAX 0595-96-8182

指定共同生活援助事業所

グループホームきれい 亀山 第2栗の木ヴィレッジ

(第2)〒519-0166 亀山市布気町1446
TEL0595-96-8183 FAX 0595-96-8183

指定共同生活援助事業所

グループホームきれい 御糸の杜(みののもり)

〒515-0354 多気郡明和町行部131
TEL0596-55-6800 FAX 0596-55-6800

指定共同生活援助事業所

グループホームきれい みや川

〒519-0504 伊勢市小俣町宮前31-2
TEL0596-20-8530 FAX0596-20-8531

指定就労移行支援事業所・指定就労継続支援事業所・就労継続支援事業所

きれいサポートステーション

〒510-0253 鈴鹿市寺家町1416-1
TEL059-388-0864 FAX059-367-7911

指定就労継続支援事業・指定障害児相談支援事業・指定一般就労支援事業所

きれいライフステーション

〒510-0253 鈴鹿市寺家町1416-1
TEL059-340-7997 FAX059-367-7050

指定障害者支援施設・指定生活介護事業所・指定短期入所

宮の里ミタスマリアルーム

〒519-0427 度会郡玉城町宮古728番地の18
TEL0596-58-5030 FAX0596-58-5033

e-mail miyanosato@kirei.or.jp

指定特定相談支援事業・指定障害児相談支援事業

宮の里ライフステーション

〒519-0427 度会郡玉城町宮古728番地の18
TEL0596-58-8588 FAX0596-58-5033

指定生活介護事業所・指定短期入所

二見生活介護支援センター 潮音(しおね)

〒519-0609 伊勢市二見町茶屋310番地
TEL0596-72-8823 FAX0596-72-8823

指定特定相談支援事業・指定障害児相談支援事業

潮音ライフステーション

〒519-0609 伊勢市二見町茶屋310番地
TEL / 0596-63-5061 FAX / 0596-72-8823

指定就労移行支援事業所・指定就労継続支援事業所

指定就労継続支援事業所

南勢就労支援センター

〒519-0427 度会郡玉城町宮古728番地の18
TEL0596-58-0101代 FAX0596-58-6742

e-mail nansai@kirei.or.jp

指定就労継続支援事業所

お弁当屋 潮音(しおね)

〒516-0609 伊勢市二見町茶屋310

(二見生活介護支援センター潮音内)

TEL0596-72-8817 FAX0596-72-8817
e-mail obentoya-shione@kirei.or.jp

指定就労継続支援事業所

第二南勢就労支援センター

〒515-0347 多気郡明和町貴重里中1134-3
TEL0596-55-6711代 FAX0596-55-3535

e-mail nansel2@kirei.or.jp

指定就労継続支援事業所

福祉葬祭三重 福祉会館 白子

〒510-0236 鈴鹿市中江島町14-12
TEL059-380-1711 FAX059-380-1712

指定就労継続支援事業所

福祉葬祭三重 福祉会館 鈴鹿南

〒510-0253 鈴鹿市寺家町1247-1
TEL059-380-1717 FAX059-380-1720

指定就労継続支援事業所

福祉葬祭三重 福祉会館 津

〒514-0014 津市港町18-12
TEL059-213-1717 FAX059-213-1771

指定就労継続支援事業所

福祉葬祭三重 福祉会館 伊勢

〒516-0013 伊勢市鹿渕町656-1
TEL0596-26-3170 FAX0596-26-3025

社会的事業所

まかせ太君(鈴鹿)

〒513-0836 鈴鹿市国府町字高畔3917-272
TEL059-370-8118 FAX059-370-8119

社会的事業所

まかせ太君(伊勢)

〒519-0504 伊勢市小俣町宮前741
TEL0596-63-5450 FAX0596-63-5451